

[日時] 2004年10月22日(金)

[目標] 少しでも皆と一緒に行動ができる

[現在の様子と問題点]

- 1 これまでにアンティグアは家族で何度となく訪れているが、本人には行きたくない所になっている。
- 2 いつも行くレストラン（2階のハンモックで遊べたので）や中央公園の噴水の周りであれば、何時間でも過ごせるので、親と行く時はほとんどその2箇所と駐車したところの往復だけしかしていない
- 3 これまでにみられた行動
車から降りるのを嫌がる／知らない店や施設、レストランには入れない
泣いて「家に帰る」と言って違う方向へ一人でとっとと歩きだす
連れて行こうとする方向と思っている方向が違くと道端に寝転がる
そのつど、なだめるのに10分くらいは要する

[親はどう対応しているか]

- 1 頭から観光、買い物の予定はパス。お店や施設には連れていかない
- 2 他の人が観光、買い物をしている時はなじみのレストランか噴水へ連れて行く
- 3 レストランなどに入ったら、中で携帯ゲームができると決めている
- 4 「～をします」と文字や絵で書いた指示メモで指示を伝える。その指示でダメなら「～するのをがまんします」という表現に変えひっくり返ろうが、気持ちの転換ができるまで待つ（10分位）

[当日予想される問題行動]

バスを降りない／「家に帰る」と言い出す／皆のペースで歩けない／ポイントなど施設の中に入れない
バスを降りてから、「歩きたくない」と寝転がる／しばらく歩いて、ある角に来て、「そちらへ行きたくない」と寝転がる／家族で行く時の対応（ゲームボーイ、行きたくない所へは行かず噴水にいればよい）にならないので、それに対する抵抗

[対応策のアイデア]

- 1 カレンダーでこの日に社会見学でアンティグアに行くことを認識させておく
- 2 昴用の「社会見学」のしおりを作成し、事前学習をさせておく
- 3 道で寝転んでいる写真を使ったソーシャル・ストーリーを何回か書かせる。当日も自分で書いたソーシャル・ストーリーを持参し、寝転ぶような時は見せ「寝ません、皆と歩きます」と指示を出す
- 4 前日から「覚悟カード」で覚悟させておく
- 5 当日はしおり、スケジュール表、地図を確認しながら行動させる
- 6 突発的なスケジュールの変更や、問題行動には「指示メモ」「がまんメモ」を提示する
- 7 ウォークラリーにトークンシステムを用い、ウォークラリーのポイントでトークンがもらえ、全部集めると、ご褒美と交換できるというようにする
- 8 ウォークラリーの意義は薄れるかもしれないが、どうしても歩かせることを優先する、または抵抗が始まると気分転換させるのに10分以上はかかることもありそうになると引率の先生が別れて引率することになる事態が予想されるので、治安の状況もありグループの引率が手薄になることを避けたほうがよいならば
・1～2日前から、ゲームキューブのソフトを隠し、オリエンテーリングの地図（ポイントご

とにソフトの写真を貼っておく) を見せ「ここにあるから、探しにいかなくてははいけない」と言い聞かせておく。当日ポイントでソフト(現物)を渡してもらえることとする。

- ・ゲームボーイの本体を渡しておき、ポイントごとにソフト、最後の休憩(お弁当?)で電池を渡し、ご褒美として少しの間ゲームをやってよいこととする(他の子供の理解が得られれば)

[対応策]

- 1 昴の大好きなゲームの悪役の‘ワリオ’が、昴の大切なゲームのソフトをアンティグアの街に奪って行ってしまったので、それを取り返しに行くという設定にする。
- 2 6ヶ所あるポイントで、ゲームのソフト(現物)をワリオの帽子をかぶった人から返してもらい、自分のいつも使っているゲームソフトホルダーに戻していく。
- 3 当日の流れを分らせておくために、当日の行動にそったソーシャルストーリーをパワーポイントで作成し、前もって何回かやらせておく。
- 4 パワーポイントの各ページをプリントアウトして、同じ内容の携帯スケジュールブックを作成し、当日それで行動を確認させながら行動させる。
- 5 ソーシャルストーリー(作文)も前もって何回か書かせる。
- 6 カレンダーに記入して前々から日程を確認させる

[結果]

- 1 全く自然体で他の子ども達と同じ行動ができた。
- 2 いつもなら嫌がる「暗い部屋、や博物館の中へ入る」ことなども同じにできた。
- 3 最後に自宅でバスを降りる際、怒って先生を叩いたり、バスを叩いたり押したりしてしまった。

[分析]

- 1 パワーポイントのソーシャルストーリーと携帯スケジュールブックと「ゲームソフトの奪回」という設定は昴を参加させ、皆と同じ行動をさせるために大成功だった。
- 2 次の機会には、ゲームソフト現物を使うということではなく、本来の行事の意味に近いものに少しずつ変えていければよいかもしれない。
- 3 「社会見学」という言葉が耳に止まるようになり始めていたところだったので「社会見学」という呼び方で一ヶ月以上前から確認させてきたが、行事の呼称がいつのまにかウォークラリーと変わりソーシャルストーリーでも一週間前になって突然「ウォークラリーをします」というような表現に変わったので、親から「社会見学」という言葉で確認させてきているのだから昴に対しては「社会見学」で通して欲しいと希望した。
- 4 今回の取り組みをやったことで、家族ででかけるときもこれまで行けなかった所へすんなり動ける場面が増えた。
- 5 最後に怒って先生やバスにあたったのは、家のカレンダーが「22日社会見学でアンティグアへ行く」「23日空港へ行く」となっており、いつのまにか、本人の中でアンティグアの後、空港へ行くという思い込みができてしまっていたための行動だった。スケジュールブックで家に帰ることを確認させ、カレンダーで空港へいくのは23日と確認させたところ、落ち着いた。ウォークラリーが全てできたからとホッとしてしまわず、最後のスケジュール確認まで気を抜かないようにしなければならない。



皆と
歩くと
楽しいよ

10月22日 社会見学に行きます。

知らない道を 通るかも しれません。

でも道で ねるのは あまりかっこいいことではありません。

みんなと、いっしょに町を歩くと楽しいです。
